

補正予算

▽平成28年度館林市一般会計補正予算(第2号) Ⅱ1億141万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ281億9835万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成28年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第1号) Ⅱ2716万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ18億3824万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成28年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) Ⅱ5378万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億5320万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償の額の決定について) Ⅱ本年8月1日に館林

報告

市立第一中学校敷地内で発生した倒木による車両の物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について、被害車両2台を緊急に修理する必要があることから専決処分したもので、全員一致で承認されました。

▽平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について Ⅱ「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は4・2%、将来負担比率は91・6%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての健全化判断比率及び公営企業会計

平成27年度決算

における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となつているとの報告がありました。

▽平成27年度館林市歳入歳出決算の認定について Ⅱ一般会計決算の概要は、最終予算額283億4456万2265円に対し、歳入決算額は291億7702万5782円で、予算に対する収入率は102・94%です。また、歳出決算額は269億6520万2664円で、その執行率は95・13%となり、歳入歳出差引残高は22億1182万3118円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源10000円を差し引いた実質収支額は、22億1182万2118円となり、このうち16億円を財政調整基金に、5000万円を職員退職手当基金に積み立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む5億6182万3118円を翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入100億9981万4469円、歳出99億9015万4500円。下水道事業特別会計が、歳入18億7899万9337円、歳出17億6047万8122円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5141万7371円、歳出4628万3500円。介護保険特別会計が、歳入57億4450万7493円、歳出55億3990万3334円。後期高齢者医療特別会計が、歳入8億1730万6603円、歳出7億5773万3766円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

本決算について、日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

▽平成27年度館林市水道事業会計決算の認定について Ⅱ収益的収支では、事業収益18億4264万8520円、事業費用16億470万5096円で、この結果、

消費税抜きの純利益1億8976万3035円が計上されたほか、資本的収支では、収入総額3億9808万6200円に対し、総支出額11億9993万2117円で、不足する額8億184万5917円については、建設改良積立金や損益勘定留保資金等で補てんされるもので、採決の結果、全員一致で認定されました。

今回の決算は、本市の水道事業が群馬東部水道企業団へ移行したことによる、打ち切り決算です。

群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙結果

群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、多田善洋議員が当選されました。

群馬東部水道企業団議会議員の選挙結果

群馬東部水道企業団議会議員の選挙が行われ、橋本徹議員、多田善洋議員が当選されました。

